

数値目標

具体的な実現施策の進捗状況を管理するため、将来の数値目標を、業務指標（PI）を用いて以下のとおり定めます。

表 6.1 数値目標

区分	業務指標(PI)		指標の意味	望ましい方向	H29 業務指標		R12 目標値
					東海村	全国平均	
安全	最大カビ臭物質濃度 水質基準比率	%	カビ臭物質であるジェオスミンまたは2-メチルイソボルネオール の最大比率。	↓	(60.0)※	-	50 以下
	総トリハロメタン濃度 水質基準比率	%	主要な消毒副生成物質の一種である総トリハロメタンの最大比率。	↓	(42.7)※	-	50 以下
	消毒副生成物 濃度水質基準比率	%	消毒副生成物質の最大比率。	↓	(53.8)※	-	50 以下
強靱	管路の更新率	%	管路全延長のうち当年度新設した管路の割合。法定耐用年数(40年)で更新する場合、2.5%が目安となる。	↑	(0.79)※	0.68	1.25 程度
	法定耐用年数 超過設備率	%	法定耐用年数を超過している機械、電気設備の割合。高い場合、経年化が進んでいると評価。	↓	72.9	43.9	50 以下
	配水池の耐震化率	%	浄水の貯留施設である配水池の耐震化率	↑	(50)※	54.7	100
	基幹管路の耐震適合率	%	耐震適合性のある基幹管路延長の割合。高いほど耐震性が高いと評価。	↑	58.6	36.5	75
持続	有収率	%	年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す。	↑	86.0	90.0	88.5
	営業収支比率	%	値が高いほど営業利益率が高いことを示し、100%未満である場合は営業損失が生じていることを示す。	↑	99.1	107.0	100%以上
	経常収支比率	%	経常収益と経常費用の比率。100%を超えていれば黒字と判断。	↑	108.2	113.4	100%以上
	繰入金比率	%	収入における繰入金の比率。独立採算を確保する意味では低い方が望ましいが、過度な料金負担を避ける意味で一定程度の繰入金が必要な場合もある。	↓	収益的収入		収益的収入
					10.1	1.8	過去の平均以下
					資本的収入		資本的収入
					84.4	13.8	過去の平均以下
	給水収益に対する 企業債残高の割合	%	給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す	↓	300.7	273.2	200 以下
	料金回収率	%	給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す	↑	89.1	103.24	90%以上
	給水原価	円/m ³	有収水量 1m ³ 当たりの経常費用（受託工事費等を除く）の割合を示すもので、水道事業でどれだけの費用がかかっているかを表す	↓	181.4	168.38	現状維持
職員一人当たり 有収水量	m ³ /人	1年間における損益勘定職員一人当たりの有収水量を示すもの。水道サービスの効率性を表す。	↑	390,000	382,000	400,000	
有形固定資産減価 償却費率	%	有形固定資産減価償却費率は、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却が、どの程度進んでいるかを示す指標で、資産の老朽化度合いを表す。	↓	46.1	49.59	50%以下	
浄水発生土の 有効利用率	%	浄水処理の過程で排出される汚泥で有効利用を行った割合。	↑	70.0	65.2	100	

※R 元年度実績値より別途算出